保健だより　聴力検査号

大津市立真野中学校
令和６年５月７日

5月8日（水）1校時～5校時（クラスによって違います）

聴力検査ではこんなことを調べます

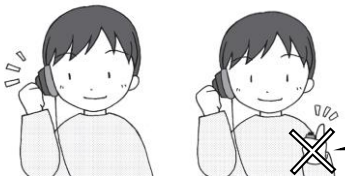
音が聞き取りにくく、困ることはないかを調べます。（検査対象は１年生・３年生）

聴力検査の流れ

① 廊下では静かにいすに座って順番を待ちます。

② 部屋の中では３人待ちます。ここでも静かに待ちましょう。
ドアは静かに開閉しましょう。

③ 自分の順番が来たらクラス、番号、名前を測定の先生に伝えます。その後背中合わせに座ります。



④ レシーバーを右耳にあてます。この時、ボタンは持ちません！

⑤ レシーバーから「ピー」という音が聞こえるので、聞こえている間は手をあげます。聞こえなくなったら、手をおろします。

⑥ 次に左耳を検査します。
両耳が終われば終了です。

静かに廊下へ出ましょう。

＊検査の前の休み時間と検査終了後は手を洗いましょう。

準備

前日は耳掃除をしておきましょう。

音の伝達経路のどこかに何らかの障害が起こると聴力が落ちてきます。生活に支障をきたすこともあるので早期発見が大切です。

★感音性難聴★
内耳に原因のあるもの。

★伝音性難聴★
外耳から中耳に原因のあるもの。

★心因性難聴★
ストレスによるもの。

★音響外傷★
ヘッドホン難聴ともいわれ、大音量でおこるもの。

今回の検査で聞こえない音があった場合は、後日、環境を変えて再検査をします。

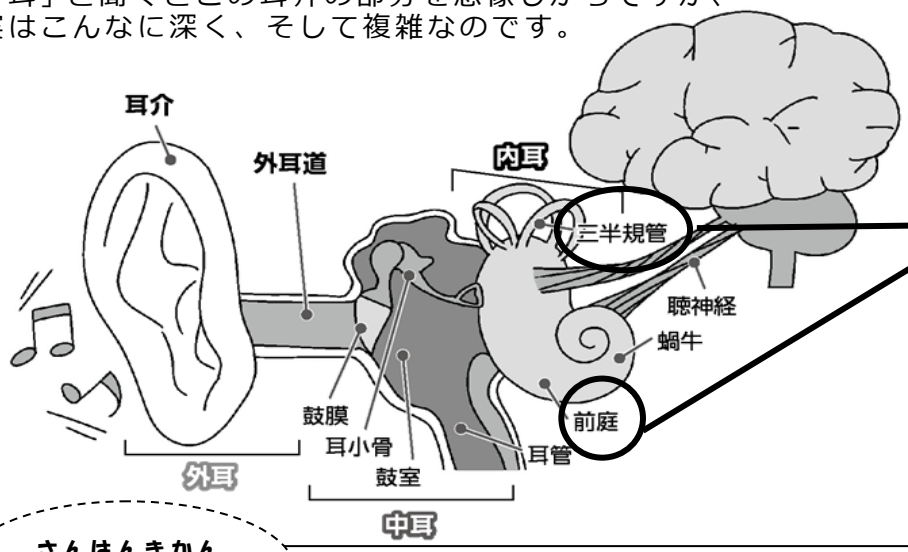
聴力検査ではこんなことを調べます：す。

耳のやくわり

実は！～こんなことをしています～

耳は、みなさんが知っているとおり、音を聞くという役割と、**からだのバランス**を保つ役割もあります。目をつむっていても自分がどの方向を向いているのかわかるのは耳のおかげ！

「耳」と聞くとこの耳介の部分を想像しがちですが、
実はこんなに深く、そして複雑なのです。

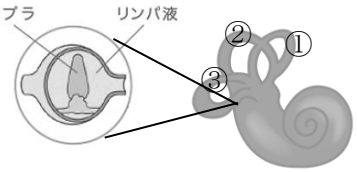


からだのバランス

感覚には、耳の奥にある**三半規管**と**前庭**が深～く関係しています。

三半規管

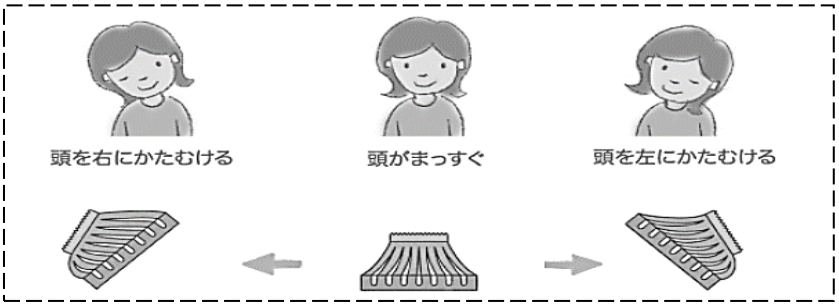
三半規管はチューブの形をしている３つのくだのことです。
それぞれの半規管の中にはリンパ液が入っていて、クプラという神経があります。リンパ液とクプラは
からだの動きに合わせてバランスの動きを脳に伝えています。

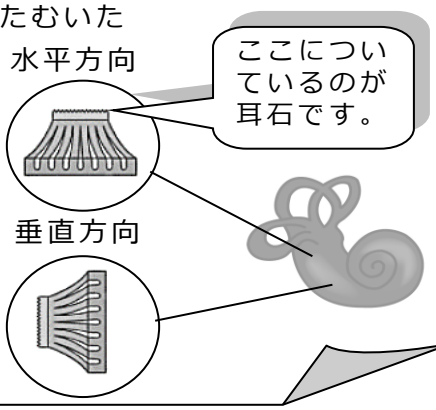


例えば、スケートで、加速するときや止まるときはクプラもゆれてからだのバランスをとっている状態。スピードが安定して、からだの動きが一定のときはクプラも止まります。

前庭

前庭には、水平方向のかたむきを感じる場所と、垂直方向のかたむきを感じる場所があります。ここには耳石（じせき）がついていて、これが動くことによって頭のかたむいた状態が脳に伝わります。





ヘッドホンなどで大きな音を長時間聴いたり、耳のそばで大きな声を出したりしないようにしましょう。